

○ 11月24日(木)

## 府立学校スクールミーティング(府立大江高等学校)

---

### ○ 安藤 委員



府立大江高等学校で専門学科の授業の様子や学校施設を拝見いたしました。

専門学科の生徒から、特徴あるビジネス実践の授業の様子や「ショッピングモール運営」に関する業務内容や学びの成果を発表していただきました。高校生が社長を務め、地元企業の商品を委託販売・運営するショッピングモールでは、実際に企業を訪問し商談することからはじまり、商品管理、顧客対応まで全て生徒たちが行っています。実際に商品撮影を行っている授業の一コマを拝見いたしました。プロ並みの機材を使い、角度を変えたり配列に工夫したりしながら、商品の魅力を最大限に引き出そうと奮闘されていました。

顧客が知りたい情報は様々で、大きさや素材はもちろん、どんな味なのか、どんなときに使うのか、また丁寧なシチュエーションの説明や写真があると嬉しいものです。是非、顧客目線で高校生の柔らかい感性を活かした地域の魅力を発信してほしいと思います。ショップオーナーと顧客の架け橋となり、実践を積み重ねている様子はとても頼もしく感じました。

また、教職員との懇談では、今注目されている「主権者教育の実践校」としての成果や課題を伺うことができました。社会系の選択科目を履修しているクラスは、議会傍聴や実際の選挙を教材に模擬選挙などを行い、現実に近い形で探究活動を重ねておられました。議会質問や議員との懇談など貴重な体験から、政治は遠いものだと思っていた高校生も、自分たちの生活に身近な存在であり、主権者として関わっていく必要性を意識するように少しずつ変わり、実感が持てているように思いました。

一方で、当事者意識を持ちにくい生徒や意識の向かない生徒も中にはいるのではと思います。実際の選挙がない期間、興味関心が薄れることのないような工夫や取組を意識的に取り入れることが必要だと思います。

家庭でも報道やニュースを見ながら政治に関する話題を話し合ったり、親が選挙に行く姿を見たりしながら実生活と絡んだ政治への意識が育つはず。こうした学校での授業をきっかけに親世代の興味関心を高められるような工夫があっても良いかもしれません。家庭での主権者教育にも期待したいところです。

幅広い角度からの地域貢献、地域交流を実践されている生徒のみなさんが今後も主体的に学び、社会の一員として成長していけるよう期待しています。